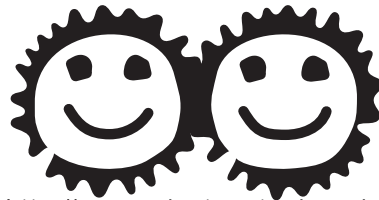


発行：2002年 3月 1日

NPO法人 みなとネット21

理事長 村上 雅昭



http://www.minatonet.min.gr.jp/
mail: minatonet@hotmail.com

こころのケアでつなぐこころ
精神障害者と家族の総合的支援プログラム

最近の話題

11月29日・30日に茨城県の水戸で茨城県友部病院の主催で開催された第44回日本病院・地域精神医学会総会において「みなとネット21」の活動を発表する機会を得たので報告します。「2002年市町村事務移譲と居宅生活支援」というシンポジウムでした。2日目のメインシンポジウムとして午前中に大ホールで行われました。2名の座長は宮城県精神保健福祉センター長で医師の白澤英勝先生と茨城県東京成徳大学教授でPSWの新保祐元先生でした。シンポジウスとは他に、埼玉県精神保健総合センターの天野宗和氏、茨城県保健福祉障害福祉課の山本龍男氏、茨城県藤代町保健センターの寺田真佐子氏でした。それぞれ、PSW、事務職、看護職の立場から来るべき2002年の居宅支援事業について語り、最後に厚生労働省保健福祉課・社会復帰対策専門官の大澤英司氏が指定発言をして一旦発表を終え、後に壇上で議論すると言ったものでした。紙面の都合上、他の方々の内容には言及できませぬが、「みなとネット21」が実施している包括的医療の考え方を紹介しました。今回の厚生労働省が実施する居宅支援事業では、ヘルパーの仕事は「生活の支援で、医学、リハビリ、福祉制度の活用などは自分の領域外」と極めて限定的に捉え「健康な部分がより生き生きすることのお手伝いをする」としています。短期間の講習で在宅支援をするという試みをあながち否定するつもりはありませんがやはり単に生活障害を補うのでは

なく、改善回復を図ると言う本質的なアプローチを忘れてはならないと問題提起してきました。なぜなら、「みなとネット21」が一翼を担う包括的医療であるOut-patient Treatment Projectのように、在宅で認知行動療法をはじめとする包括的アプローチを実施すれば当事者の症状や障害は飛躍的に改善すると言う科学的事実が存在するからです。この学会ではコメディカルスタッフの参加も多いため医師が提起するのだから単なる医学モデルだろうという誤解を招かないように留意しました。認知行動療法という援助技術は比較的簡便に習得でき言わば職種が違ってもチーム医療の中では共通の援助技術となつていくこと、そしてその特徴は、当事者と同一レベルでの協同作業が必要であり、役割と責任も分担するチームによる問題解決のアプローチであること、根底にはセルフ・ヘルプの発想があることを強調してきました。振り返ると、これまで精神保健専門家は生物学的アプローチに偏りすぎて精神分裂病の様々な症状と戦う当事者や、それがもたらす様々な問題を日常的に呈する中で、圧倒的に一緒に過ごす時間が多い援助者に対して有効なメッセージを何ら発信できないでいました。今は、適切は技法を持つ専門家と学習すれば色々な問題に対処する技法が確実に身に付くのです。是非、日常的な問題を有効に解決できる技法が実際にニーズがある人達に到達できるようにしたいと思つていきます。これからも、機会があれば積極的に学会で発言して情報発信に励みたいと思つていきます。(村上雅昭)

みなとネット21講習会のお知らせ

平成13年9月15、16日にみなとネット21主催による精神保健福祉の分野に従事している専門職を対象としたOTPTレーニングワークショップを慶應義塾大学病院で開催したことは前回の号にてご報告いたしました。その際、ワークショップ終了後のアンケートにて「このような実践的な講習会をまた開いてほしい」というご意見をいただいたこともありまして、今回名古屋にて開催することになりました。

日時 3月16日(土) 曜日
場所 ウィル愛知(名古屋市中役所の近く)
時間 9時30分～17時
定員 40名
受講費用 一万円(ワークブック代・昼食代を含む)

主催 共催

みなとネット21

慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

明治学院大学社会学部附属研究所

申込書をご記入の上 FAXにて送信してください。受講料確認の上、受講証を郵送いたします。

問い合わせ

みなとネット21

TEL 03(5366)2162
FAX 03(5421)5563

「ご協力ありがとうございます」

この度、私達の活動の主旨をご理解いただき、賛助会員により入会してくださりご協力いただきまして誠にありがとうございます。

清水サダ様 酒井一彰様 前澤靖子様
佐久間啓(あさかホスピタル)様 栗田恵子様
長尾博司様

氏名掲載可の方のみ掲載させていただきましたがこのほかにも皆様からの多大なるご寄付を頂いております。これからも更なる発展と活動の充実を目指して努力していきますのでよろしくお願い致します。ご協力ありがとうございます。

精神科リハビリテーション

ワークブック

監修－イアン R.H.ファルーン+鹿島晴雄
編著－水野雅文+村上雅昭
著－慶應義塾大学医学部精神神経科
総合社会復帰研究班

中央法規
2200円(税別)